

五島警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和6年1月26日(金) 14時00分～15時57分
場 所	五島警察署講堂
出席者	<p>1 協議会 佐々木会長 末留委員 稲生委員 入口委員 小杉委員 兵働委員</p> <p>2 警察署 松尾署長 峰副署長 岡田警務課長 松尾生活安全課長 山口地域課長 佐々交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会における提出意見「年末年始に向けた各種事件・事故抑止対策の推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 防犯キャンペーンを実施した。</p> <p>(2) 警戒活動を実施した。</p> <p>(3) 交通指導取締り、交通安全講話、飲食店訪問活動を実施した。</p> <p>2 諮問テーマへの協議会の答申に対する推進状況について 署長から、前回協議会の諮問テーマ「効果的な警察広報を行うための方策について」への答申「世代に応じた方法を用いた広報を実施してもらいたい」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 郵便局と連携した協賛型タウンメールを実施した。</p> <p>(2) 五島バス車内へのポスター掲示を実施した。</p> <p>(3) 高校生に対するサイバー犯罪講話を実施した。</p> <p>(4) 交通安全に関する広報活動を実施した。</p> <p>(5) ラジオCMの作成について説明した。</p> <p>3 令和5年10月から12月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) ニセ電話詐欺を始めとした犯罪抑止対策の推進 ア 電子マネー用注意喚起封筒の作成、配布を実施した。 イ 新聞折り込みチラシを活用した広報紙の配布を実施した。</p> <p>(2) 街頭活動の推進 犯罪抑止のための警戒活動を推進した。</p> <p>(3) 身近な犯罪の検挙 ア 刑法犯の発生状況について説明した。 イ 身近な犯罪の検挙について説明した。</p> <p>(4) 夕暮れ時における交通事故防止対策の推進 ア 早めのライト点灯についての呼び掛けを実施した。 イ 街頭活動を強化した。</p> <p>(5) 緊急事態対策の推進</p>

<p>会議の状況</p>	<p>ア 関係機関合同による航空機災害対応訓練を実施した。 イ 関係機関合同による無人航空機対応訓練を実施した。</p> <p>(6) 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立 ア 「ちょっと集まる会」を開催した。 イ 様々な地域イベントに参加した。</p> <p>4 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。 (1) 子供、高齢者を犯罪から守るための諸対策の推進 (2) 適切な110番通報に関する広報活動の推進 (3) 身近な犯罪の検挙 (4) 冬期特有の交通事故抑止対策の推進 (5) テロ対策の推進 (6) 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立</p> <p>5 令和6年五島警察署業務運営重点について 署長から、令和6年における五島警察署業務運営重点について、次のとおり説明があった。 (1) 長崎県警察における基本姿勢 (2) 令和6年運営指針 ア 犯罪から県民を守る総合的な取組の推進 イ サイバー空間の脅威への的確な対処 ウ 悪質・重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進 エ 交通死亡事故・重傷事故抑止対策の推進 オ 治安情勢の変化や緊急事態への的確な対処 カ 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立</p> <p>6 速度取締りの指針について 交通課長から、速度取締りの指針について、次のとおり説明があった。 (1) 五島警察署の速度取締り重点 (2) 五島警察署管内における交通事故実態 (3) その他の交通指導取締り重点</p> <p>7 諮問テーマに対する答申について 警務課長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申された。 (1) 諮問テーマ 職業人としての誇りを醸成するための方策について (2) 協議会からの答申 佐々木会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。 ○ 署員に考える機会を設ける施策を推進してもらいたい。</p>
<p>提出意見</p>	<p>○ 地域や企業等と連携した犯罪抑止対策の推進 警察からの一方向的な情報発信だけでなく、地域や企業等と連携した犯罪抑止活動をお願いしたい。</p>